中小企業を応援するマネーセミナー2023 in 福岡

企画・制作／西日本新聞社メディアビジネス局

「中小企業を応援するマネーセミナー2023 in 福岡」が5月23日、福岡市・天神のエルガーラ大ホールで開かれた。企業や従業員が掛金を出して運用し、将来の「じぶん年金」をつくる「確定拠出年金制度」を中小企業の経営者に知ってもらい、普及させることが目的。会場には、福岡県の企業経営者ら約100人が参加した。第1部はファイナンシャルプランナーの山中伸枝さんが「制度を活用して会社も社員もハッピーに」と題して講演。2部は制度を導入した2人の経営者が導入の効果などを紹介した。同セミナーは投資信託協会と西日本新聞社の共催事業。

後援：金融庁、厚生労働省、金融広報中央委員会、福岡財務支局、全国地方銀行協会、第二地方銀行協会、全国信用金庫協会、全国労働金庫協会、日本証券業協会、福岡市

確定拠出年金制度を普及させよう
県内の経営者ら100人が参加

主催者あいさつ

一般社団法人投資信託協会会長
松谷 博司 氏

今や多くの企業で人手が不足し、人材確保に苦労されておられる経営者が少なくないかと思います。企業が優秀な人材を確保するには仕事のやりがいや楽しい職場であることはもちろん、これからは会社が従業員の資産形成を支援する体制がいかに充実しているかということが大きなポイントになると私は考えます。

資産形成は目的を決め、目的に沿ったマネープランをつくり、長期にわたって分散投資を続けて初めて成果が出るものです。本セミナーの主要なテーマであるiDeCo、iDeCo＋、企業型DCは、国が用意したさまざまな税制優遇制度が盛り込まれており、経営者・従業員の資産形成に大変有効な施策になるものと確信しています。皆様方には、退職後も社員の老後を心配する「ちょっとおせっかいな会社」になっていただきたいと思います。

1部 講演

iDeCo、iDeCo+、企業型DC
人生100年時代の新たな退職金制度

ファイナンシャルプランナーCFP®
株式会社アセット・アドバンテージ
代表取締役
山中 伸枝 氏

本日は確定拠出年金制度のお話をします。将来の老後資金をつくるための私的な年金制度です。いくつか種類があるのですが、まず全体的な仕組みをご紹介します。

自分の年金を築く特別な口座をつくり、ここに毎月掛金を入れ、主に投資信託で運用します。口座には「鍵」がかかっていて、60歳まで開けられません。何が「特別」なのか。それは掛金を積み立てている時、運用している時、受け取る時にそれぞれ税の優遇があるからです。米国ではこの制度で多くの国民が資産を増やしました。

個人が掛金を出す「個人型」と企業が負担する「企業型」があります。個人型確定拠出年金（iDeCo）、中小事業主掛金納付制度（iDeCo+）、企業型確定拠出年金（DC）について説明します。

iDeCoは個人事業主に適しています。自営業の場合、掛金は月6万8000円、年間81万6000円まで所得控除が受けられます。投資信託などの運用益が出たら、通常は約20％の税金を取られますが、イデコ口座の利益には税金がかかりません。万が一、自己破産しても、口座のお金は差し押さえの対象外。保険の役割もあります。

iDeCo+は厚生年金に加入する中小事業者向けの制度です。iDeCoに加入する従業員の口座に事業主が掛金を上乗せします。上乗せ分は経費処理できます。

1万円を給料で渡したら、事業者は約15％の法定福利費を負担しなければなりませんが、iDeCo+の掛金には法定福利費は不要です。掛金以外、費用は一切かからないので、手軽に導入できる福利厚生制度といえます。

企業型DCは会社が社員のために掛金を拠出する企業年金制度です。大企業では4割超が導入していますが、中小企業の導入例はわずか。掛金の上限額は月5万5000円と多く、老後資金をつくるメリットは大きいと思います。ただし、導入には数十万円の費用がかかります。大企業を辞めた人は積み立てた掛金を持って移籍できる仕組みなので、この制度を導入すれば、大企業からの人材を受け入れやすくなります。

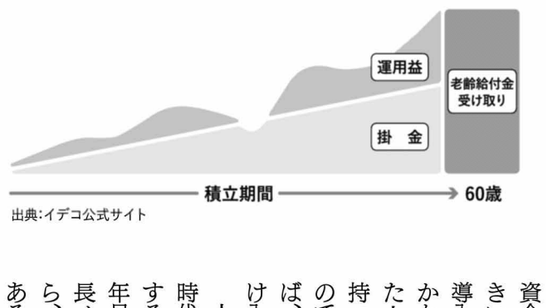
人生100年時代。現役時代が20歳から60歳までとすると、100歳まで同じ年月があり、老後がとても長くなりました。ですから、さまざまな税の優遇がある国の制度をフル活用して将来の自分への仕送りを今から始めていただきたい。

中小企業の経営者には従業員の背中を押す役割を期待しています。

確定拠出年金とは…

税金の優遇を受けながら「じぶん年金」を積み立てる国の制度

iDeCo	iDeCo+	企業型DC
自分が自分のために掛金を拠出	会社が社員のために掛金を拠出	会社が社員のために掛金を拠出
私的年金制度	福利厚生制度	企業年金制度
個人の経費	会社の経費	



出典:イデコ公式サイト

2部 トーク

導入企業が本音を語る
きっかけ、効果、社員の声も紹介

第2部はiDeCo+と企業型DCを導入した福岡県の若手経営者2人に山中FPが導入のきっかけや効果などを聞きました。

山中　まず会社・組織について紹介してください。

廣田　福岡市南区と春日市で歯科医院を経営しています。2014年に開業し、20年に医療法人化しました。社員は総勢38人です。

迫田　ソフトウエア開発のベンチャー企業です。2003年に創業し、11年に法人を設立。グループ会社を含めスタッフは30人。事務所は福岡市中央区にあります。

山中　廣田さんの法人がiDeCo+、迫田さんの会社が企業型DCを導入しておられます。まずは制度導入のきっかけを教えてください。

廣田　以前、優秀な女性スタッフがいました。彼女はひとり親で子ども2人を育てていました。患者さんにもスタッフにも愛され、ずっと働いてほしいと思った人でした。しかし、福利厚生が充実している生命保険会社に転職されました。そのとき、うちも福利厚生を充実させなければと痛烈に思いました。法人化の際、取引先の金融機関に相談したところ、iDeCo+のことを紹介していただきました。

迫田　当社も優秀なスタッフに長く働いてほしいというのが第一の理由です。IT業界ではストックオプション制度（従業員が自社株を一定価格で購入できる権利）を導入する会社もありますが、うちは上場を目指す段階になく、導入は極めて難しかった。

DCの掛金は、差し押さえの対象にならないので、事業で失敗しても、そのお金が再チャレンジの資金になる。DCの導入でまず経営陣の土台をしっかりさせ、将来、その安心感を従業員に還元する仕組みとして、DCがふさわしいと考えました。

山中　実際に会社として掛金はどんな方に、毎月いくら出しておられますか？

廣田　うちの場合、iDeCo+の掛金の上限は月に2万3000円です。マネジャー格の本部社員4人に法人として2万2000円を、一般職の2人に5千円を拠出しています。

迫田　当社も勤続年数の長い従業員に会社として月に3万円の掛金を出しています。上限は5万5000円ですから、残りの金額は個人で負担しています。

山中　わあ～、すごい金額ですね。社員さんの反応、効果はどうですか？

廣田　組織へのエンゲージメント（愛社精神）が高まり『理事長、ありがとうございます』と感謝されています。共働きのスタッフは『主人からうらやましがられました』と話していました。

迫田　うちも社員の帰属意識が高まりました。多くの社員が老後について漠然とした不安があると感じていますが、それではよい仕事はできません。企業型DC制度をうまく使って、そのような社員の不安を解消するきっかけにしなければと考えています。

グルー株式会社
代表取締役社長
迫田 孝太 氏(43)

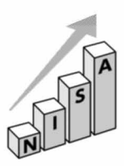
医療法人ASW
ひろた哲哉歯科・矯正歯科
理事長
廣田 哲哉 氏(42)

廣田氏「優秀な人が長く働く基盤に」

迫田氏「経営者の安心感を従業員に」

職場つみたてNISA

職場という身近な場を通じてNISA（少額投資非課税制度）を利用した資産形成ができるよう事業主などが利用者を支援して福利厚生の増進を図ることが目的。金融庁が2018年からスタートさせた。新しいタイプの財形貯蓄制度ともいえ、会社が従業員の口座開設などをとりまとめて行う。

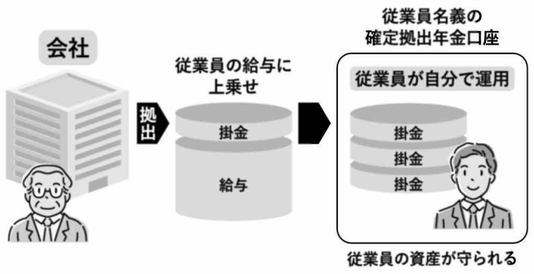


企業型DC

企業型DCは、会社が毎月掛金を積み立てし、会社に勤める従業員である加入者が年金資産を運用します。その運用成績によって、退職時に受け取る額が変動する仕組みです。

「掛金は企業が負担してくれるが、運用の結果はあくまで従業員の自己責任である」ということです。運用成績によって将来受け取れる退職金・年金の額が変動します。

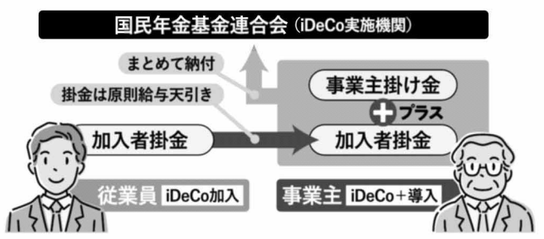
将来の老後資金を増やせるかどうかは、従業員の方の“運用手腕”にかかっているとも言えるわけです。



他の企業年金がある場合▶月額2万7500円　他の企業年金がない場合▶月額5万5000円
※他の企業年金とは、厚生年金基金、確定給付企業年金などです。

iDeCo+

iDeCoに加入する従業員の掛金を事業主が上乗せできる制度。導入できるのは従業員300人以下で、企業年金を実施していない企業。従業員と企業の掛金の合計は月5000～2万3000円。加入者と事業主が千円単位で決める。4月末現在、全国で6115事業所が導入、拠出対象者は3万8688人。



※拠出対象者となる従業員の同意が必要です。同意を得られない従業員については、強制できません。

当日の模様は投資信託協会のYouTubeチャンネルでご視聴いただけます。

第1部　第2部

未来のために一歩ずつ 投資信託で社会とともに成長しよう

人生100年時代への備えを今から始めてみませんか？

1 投資信託協会ホームページで詳細を要チェック!

●確定拠出年金や資産形成に関するコンテンツが充実。
●投資初心者の皆さまにもわかりやすく解説しています。

YouTube＆Twitter
動画で各種制度やライフプランの考え方などわかりやすく解説。
Twitterでは最新のセミナー情報やお役立ち情報を発信しています。

2 わかりやすいガイドブックプレゼント!!

無料（各1冊セット）
ホームページでは電子ブックがご覧いただけます。

個人投資家を応援する税制優遇制度「NISA」や「つみたてNISA」についても解説します。

ご希望の方は、QRコードよりお申し込みください。ハガキの場合は郵便番号、住所、氏名をご記入の上、下記までご請求ください。投資信託つみたてBook等も一緒にお送りします。

〒103-0026　東京都中央区日本橋兜町2-1
東京証券取引所ビル6階 一般社団法人 投資信託協会

※お届けまで2週間程度かかる場合があります。※いただいた個人情報は、本ガイドの送付のほか、当協会が開催する講演会やセミナーのご案内に使用することがあります。

JITA
一般社団法人
投資信託協会
The Investment Trusts Association, Japan

www.toushin.or.jp
投資信託協会　検索

はじめる人のために、つづける人のために。
投資信託協会チャンネル YouTube

投資信託協会広報部
Twitter